

碧南市芸術文化ホール指定管理事業
令和3年度事業計画書
(案)

令和2年11月14日

碧南市芸術文化ホール指定管理者

エリアワングループ

目 次

1. 管理運営方針		1
2. 目標値の設定		1
3. 運営組織体制		3
4. 施設運営業務		4
5. 施設維持管理業務		7
6. 催事計画		8
7. 収支予算書		14

1. 管理運営方針**(1)【管理運営】 市民意見の反映に取り組めます。**

- ① 利用者・来館者の意見、要望を施設運営に反映できるよう、意見交換会を実施します。
- ② 利用者が安全・安心に舞台を利用できるよう、丁寧な舞台管理・運営を行います。
- ③ スタッフ間や構成企業、地域との連携を強め、円滑な施設運営を行います。

(2)【サービス】 魅力ある事業・サービスを提供します。

- ① 利用ニーズへ柔軟に対応し、どのような利用者にも公平なサービスを提供します。
- ② 手続きの煩わしさを減らし、利用しやすいホール運営を行います。
- ③ 利用者アンケート、意見交換会で得た要望を取りいれます。

(3)【事業企画】 施設の特徴・魅力を活かした事業を実施します。

- ① 施設の特徴や魅力を活かした事業を実施します。
- ② 市内、県内施設やメディアと連携した事業を実施し、碧南 PR につなげます。
- ③ 施設の事業を通じて、魅力ある地域づくりに取り組みます。

(4)【情報発信】 利用者拡大を図るための広報を展開します。

- ① 様々な広報・広告媒体を効果的に活用し、施設の情報発信を行います。
- ② 戦略的な広報を行い、情報が継続的に発信され続ける取り組みを行います。
- ③ 地域への広報展開を強化し、市民認知度を高め、市民来館率を向上します。

(5)【市民協働】 市民参画組織による企画を支援します。

- ① ボランティアスタッフが自ら立ち上げる組織の設立を支援します。
- ② 市民参画組織による事業企画を支援し、公演実施をサポートします。
- ③ 市民との意見交換会を開催し、市民参画組織の参加者を増やします。

2. 目標値の設定

・令和 3 年度の管理運営目標を下記の通り設定し、定期的な検証・計画の見直し等を行います。

＜令和3年度 管理運営目標値＞

項目	実績値(令和2年度) ※9/3 現在	目標値(令和3年度)
① 施設入場者数(※1)	3, 180名	
② エメラルドホール稼働率(※2)	19. 9%	
③ シアターサウス稼働率(※2)	15. 9%	
④ 利用料金収入	2, 429, 780円	
⑤ 事業定員充足率(※3)	80%	
⑥ 来場者満足度(※4)	79%	
⑦ エメラルド会員数	365名	

(※1)利用者アンケートより集計

(※2)利用区分数／利用可能コマ数

(※3)定員設定のない公演を除く全公演の平均値

(※4)来場者アンケートにおける満足度調査に基づく

市民協働のあり方 [市民組織設立に向けて]**<目的>**

碧南市芸術文化ホールの活動に参画する市民やアーティストにより、多様な文化芸術資源を生かし、社会的・経済的価値を創出することを目指した、文化芸術の継承・発展・創造に取り組みます。

<目指す姿・方向性>**「まちなか劇場」**

街中のいたるところで文化芸術に触れられるまちづくりを目指し、市民ボランティアがコーディネーターとなり「まちなか劇場」を企画・演出する。

<主な取り組み>

参加者会議の運営

自主公演の企画・実施・運営

<活動計画>

令和 3年度

- 4月 参加者募集 (広報へきなん掲載、募集チラシ設置)
- 5月 参加者会議 (隔週)
- 6月 参加者会議 (隔週)
- 7月 参加者会議 (隔週)
- 8月 参加者会議 (隔週)
- 9月 参加者会議 (隔週)
- 10月 参加者会議 (隔週)
- 11月 参加者会議 (隔週)
- 12月 参加者会議 (隔週)
- 1月 参加者会議 (隔週)
- 2月 参加者会議 (隔週)
- 3月 参加者会議 (隔週)

※会議日程(予定) 毎月第1火曜日、第3木曜日 19時～20時30分

※フォーラムコンサートや登録アーティストが参加する公演を企画・開催。

※講師招へいが必要と判断した場合、適した講師を選び、随時講座を開催する。

3. 運営組織体制**<強化方針>**

- ① 職員一人ひとりがミッションを持ち、地域の劇場として自発的な活動を行います。
- ② 館長は芸術監督として事業企画を始め、渉外営業活動や他館・団体等との関係構築に努めます。
- ③ 副館長は現場実務を統括する事務局長として、管理運営業務を着実に遂行できるよう努めます。
- ④ 職員一同、円滑な業務、利用者とのコミュニケーションをとりながら施設運営を行います。
- ⑤ 組織内や構成企業、市内施設との連携を円滑に行い、情報共有、コミュニケーションを図ります。

<人員配置>

役職・職種	主な担当業務	人数	雇用形態	勤務体制
館長兼芸術監督	館全体の経営的判断 事業企画立案・計画管理 会館営業 他館・団体等との連携調整 自己モニタリングの実施	1名	正社員	8:30～17:30 ※催事開催時等には変更有り
副館長兼事務局長	管理運営統括業務 行政連絡調整業務 予算・人事管理マネジメント 情報管理・クレーム対応	1名	正社員	8:30～21:30 2～3名 ※シフトローテーション勤務 ※館長の勤務含む ※9:00～17:00は、原則 館長・副館長いずれか勤務
事業担当 (事業・広報企画)	事業実施運営 販売促進・広報展開 各種催事企画実施運営 販売促進・広報展開	2名	正社員 契約社員	
事務職員 (受付・庶務・広報)	受付事務業務 (受付・統計・帳票作成等) (HP・案内物等制作管理)	2名	契約社員	
催事職員 (催事運営)	催事運営業務 (もぎり・受付・誘導等)	4名程度	嘱託社員	催事毎
舞台技術職員	舞台総合管理業務	2名+増員	正社員	常駐2名 ※利用状況に応じて配置
設備運転管理員	設備運転管理業務	4名程度	委託	8:30～13:00 1名 13:00～17:00 2名 17:00～21:30 1名
清掃員	清掃業務	4名程度	委託	7:00～11:00 3～4名 11:00～15:00 1～2名 ※ホール利用時やイベント時は 必要に応じて増員

4. 施設運營業務**(1) 休館日及び開館時間等について**

- ①休館日 毎週月曜日（祝日の場合はその翌平日）/ 1 2 月 2 9 日～翌 1 月 3 日
 その他やむを得ない事情がある場合
- ②開館時間 午前 9 時 0 0 分～午後 9 時 0 0 分

(2) 主なサービス向上策について

既存サービスの利用促進

昨年度までに開始した各種サービスの利用者増加を図るべく、より一層積極的に情報発信を行います。

＜本年度から実施予定のサービス＞

項目	内容
窓口発注代行サービス	追加備品や看板制作、会場設営等の業者発注代行サービス 受注先: スポーツマネジメント
スタジオコンサートプラン	スタジオ内で舞台と同じようなコンサートができる音響、照明プラン 受注先: 名古屋共立
申請用紙 DL サービス	施設利用申請書を当館 WEB サイトからダウンロードし、利用申請書を事前に記入することができるサービス
インターネット回線 利用サービス	インターネット回線を各ホールに設置し、ホールからインターネット配信が行える有料サービス(回線使用料のみ。LANケーブル、WIFI 機器別)

(3) 会員制度について

- ・エメラルド会員制度の内容を充実させ、会員数増を図ります。
- ・会員向けに施設や公演情報等を直接的に発信できるようにします。

会員名称	費用	内容
エメラルド会員	3, 000円 (期間 2年間) 令和3年4月 ～ 令和5年3月末	・公演料金の会員価格設定、先行販売 ・定期広報誌や公演情報等を郵送 ・主催公演への招待
ネット会員	無料	・公演情報等をメールマガジンで配信 ・一般販売より早いチケット販売 (ネット会員先行販売期間は手数料無料)

(4)広報展開について**① WEBサイト・SNSの活用**

- ・碧南市芸術文化ホールWEBサイトや碧南市芸術文化ホール公式 Facebook、Youtube などの SNS を活用しながら、タイムリーかつきめ細かな情報発信を行います。
- ・Facebook のファン数増や公演やイベント情報等のコンテンツを定期的に配信して参ります。
Facebook いいね！ 618件 ・ フォロワー 631人
Youtube 登録者数 3人
- ・新規に公式 Twitter を開設し、リアルタイムの情報を細かく配信していきます。

② 定期広報誌の刊行

- ・当施設の催事情報や団体紹介等を掲載した定期広報誌を、四半期に一度、各3,000部程度発刊します。
- ・市内外の各施設へ配布するとともに、エメラルド会員への郵送を行います。
- ・blog展開を行い、ペーパーレスにも取り組みます。

③ 他館や市内団体・店舗・企業等との連携体制

- ・市内公共施設や、市外のホールとの連携体制を更に広げ、相互に広報協力を行える体制強化を図ります。
- ・市内文化団体や店舗・企業等への渉外営業活動を強化し、直接的な繋がりを積極的に拡大して参ります。

④ 地域メディア等の活用・パブリシティの誘致

- ・新聞やフリーペーパー等、地域メディアとの繋がりを有効的に活用し、ターゲットに応じた媒体選定・広告掲載を行います。

⑤ まちなかコンサート・出張PR

- ・登録アーティストによる「まちなかコンサート」を展開し、施設 PR につなげていきます。
- ・市内各種催事にも積極的に出向き、ホールや公演の出張PR活動も展開して参ります。

⑥ 施設活用・地域イベントとの連携

- ・市民が集まる場所となるイベント等を行い、地域と一体となった施設運営を行います。
- ・市民の活動や文化的取組に積極的に参加し、賑わい創出を含めた施設広報を行います。

(5)職員研修計画について

- ・組織全体の資質向上を図るため、全職員対象の「共通研修」と担当業務毎の「専門研修」を実施します。

<職員研修計画>

研修名		対象者	開催頻度
共通研修	指定管理者研修	一般職員	年1回
	接客接遇研修	一般職員	年1回
	コンプライアンス研修	一般職員	年1回
	救命救急研修	一般職員	年1回
	ノーマライゼーション研修	一般職員	年1回
	金銭管理研修	館長・副館長	年1回
	省エネ研修	一般職員	年1回
	体感型トレーニング	一般職員	年3回
専門研修	舞台技術員職務教育	舞台技術員	都度

(6)セルフモニタリングについて

・管理運営及び事業実施状況等について、定期的な自己点検を行うことで、恒常的な改善を図ります。

＜セルフモニタリング実施計画＞

項目	内容	時期・頻度
事業セルフモニタリング	企画・広報・運営・成果等の検証、改善項目の検討	事業終了後
四半期セルフモニタリング	年度計画に対する進捗・成果等の検証、改善項目の検討	四半期に1回
安全管理自主点検	社内安全管理基準による施設管理状況の点検	年1回

(7)市民の意見収集について

・来館されたことのない方のご意見も含めて、広く意見を収集できるよう、下記の取組みを行います。

＜意見収集方法＞

項目	内容	頻度
業務日報	日々来館者の方から頂くご意見・ご要望なども記録し、朝礼・回覧等によりスタッフ間で共有・改善	毎日
施設利用者アンケート	施設を利用された方に対し、簡易アンケート調査を実施 ご意見・ご要望に対しては、施設内掲示版にて回答	随時
事業来場者アンケート	事業に来場された方に対し、簡易アンケート調査を実施	随時
ご意見箱	窓口横にご意見箱を設置。ご意見・ご要望に対して施設内掲示版にて回答(内容による)	随時
WEBサイト問合せ窓口	ホームページ上にメッセージ等を投稿できる機能を設置 頂いた内容に対してはメール等で回答	随時

(8)会議体運営について

・市民の皆様から頂いたご意見・ご要望を管理運営に反映するために、下記の会議体を運営します。

＜会議体＞

項目	基本的な出席者	頻度
朝礼	出勤者全員	毎日
施設運営会議	施設職員全員	月1回
責任者会議	館長・副館長・代表企業本部責任者	月1回
事業会議	館長・副館長・事業担当・広報担当・代表企業本部責任者	月1回
事業体会議	館長・副館長・全構成企業本部責任者	年1回
意見交換会	市民代表者数名・館長・副館長・代表企業本部責任者	年1回

(9) 流行性感染症について

- ・世界規模で蔓延する流行性感染症対策の取り組みを継続して実施します。
 - * 対策内容や規模は、国が指定するガイドライン、碧南市基準に準じます。

＜感染拡大予防の基本的な考え方＞

基本的な感染対策を取り入れること、感染が確認された際の疫学調査を可能とするための対策を講じること、特に重症化するリスクの高い方への配慮を行います。

(1) 基本的な感染対策について

3つの密(密閉空間、密集場所、密接場面)が成立することを徹底して避ける。

利用者、参加者の方は「新しい生活様式(身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い等)」に基づいて行動していただく。

(2) 疫学調査を可能とするための対策について

すべての従事者及び参加者について、氏名、連絡先を記録し、保管します。

また、接触確認アプリ(COCoA)の登録を促します。

(3) 重症化リスクの高い方への配慮について

高齢の方や、持病(糖尿病、心不全、呼吸器疾患の基礎疾患がある方、透析を受けている方、免疫抑制薬や抗がん薬等)のある方が参加されるものについては、通常以上に配慮していただく。

＜施設利用者へのお願い＞

基本的に施設をご利用いただくにあたり、次の点を守るようお願いする。

- (1) ご来館いただく前に、検温を行っていただき、通常より熱がある方はご来館をお控えいただく。
- (2) 発熱等の体調に異変がある方は、従事及び参加を辞退いただくようお願いする。
- (3) 従事者及び参加者等の名簿を記録し、ホールへ提出していただき、主催者においても保管管理をお願いする
- (4) 参加者は、入場前にアルコール等による手指消毒を行っていただく。
- (5) 従事者及び参加者は、マスクの着用をお願いする
- (6) 従事者及び参加者の間隔をできる限り1メートル以上開けていただく。
- (7) 1時間に2回以上の換気ができるようなプログラム、内容にさせていただく。
- (8) 感染リスクの少ない催物については、全客席をご利用いただく。
- (9) ホール内での飲食は感染リスクを高めるため、自粛をお願いする。
- (10) 舞台上の演者が発声する場合は、客席との間隔を2メートル以上開けていただく。

＜流行性感染症の状況により以下のサービスを停止＞

- ・ブランケットの貸出(エメラルドホール)
- ・座席クッションの貸出(エメラルドホール)
- ・湯茶什器類、ポット、お盆の貸出

【利用者のみなさまへのお願い】

＜来館時の注意事項＞

体調管理

- ・体調の悪い利用者、来館者については、利用、入館を自粛するよう掲示し注意喚起を行う。
施設利用者、主催者のみなさまも、声掛けを行っていただきますようお願いする。
 - * 下記のような症状がある場合、来館の自粛をお願いする。
 - － 発熱があった場合や極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、味覚・嗅覚障害、頭痛、下痢、嘔気・嘔吐がある場合
 - － 咳・咽頭痛などの症状がある場合
 - － 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - － 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている場合
国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合等
- * 施設で貸し出す検温用の体温計はないため、主催者、利用者で用意をお願いする。

＜マスクの着用＞

- ・来館にはマスク着用を求めるよう掲示し、お願いする。
- ・施設利用者、主催者にもマスク着用へご協力をお願いする。
 - * 施設で配布するマスクはないため、各自で用意いただき来館をお願いする。

＜手指の消毒＞

- ・施設の出入口へ消毒用アルコールを配置し、入館時に消毒していただく。
- ・ホール利用においては施設利用者、主催者にて、消毒用アルコールをご準備いただき、来場者に消毒していただくようお願いする。
- * ホールで貸し出す手指消毒用のアルコールはないので、施設利用者、主催者で用意をお願いする。

＜咳エチケット＞

- ・施設内では咳エチケットへご理解、ご協力をお願いする。

＜施設利用時の注意事項＞

- ・施設ご利用には原則 3つの密(密閉空間・密集場所・密接場面)の回避、マスクの着用等、基本的な感染予防対策の徹底をお願いする。
- ・舞台上においても、身体的距離をできるだけ 1m以上確保した状態でご利用いただく。
 - * ホール本番利用時は、できるだけ 1 時間に 2 回以上の換気を行えるプログラムでご利用をお願いする。
- ・すべての利用者や参加者、来場者の連絡先の把握をお願いする。
- ・感染拡大状況等により、急遽、施設が利用できなく可能性があることを了承いただく。
- ・ホール、楽屋、会議室等のご利用時は 1 時間に 2 回以上の定期的な換気を行っていただく。
- ・施設利用後は、利用者にて机やいす、備品の消毒をお願いする
- * 施設利用での関係者や来場者向けの手指用消毒液については、主催者で用意をお願いする。
- * 来館者用や関係者用マスクについては、各自または主催者にてご用意をお願いする。
- ・接触確認アプリ(COCoA)の周知と登録を進める。

<ホール利用時の注意事項>

上記に記載していることの実施と、下記事項の取り組みをお願いします。

- ・入場者が大声での歓声・声援を発する、または歌唱する場合、50%以下の客席利用率
- ・関係者のマスクの着用、うがい、手洗い、消毒の励行
- ・来館者へのマスクの着用、うがい、手洗い、消毒、咳エチケット励行の事前周知
- ・楽屋や控室も、ロビーや客席等同様に、感染予防措置の実施
- ・来場者の滞在時間制限の検討
- ・入場人数の制限の検討
- ・来場者と接触するような演出を控える(声援やステージに上げる、ハイタッチする等)
- ・客席は隣合わせにならず、なおかつ最前列を極力使用しない座席配置
- ・出演者間の十分間隔確保
- ・仕込み、リハーサル、撤去等で密にならない十分な時間設定
- ・余裕を持った入退場時間の設定の検討
- ・入退場方法の工夫の検討
- ・チケット確認(もぎり)や受付方法の簡略化の検討
- ・長めの休憩時間(WCの混雑の緩和)の検討
- ・ホールでの場内アナウンスによる感染拡大予防の周知
- ・屋外に通じる扉を上演前、休憩時、終演後の積極的換気
- ・チラシ、パンフレット、アンケート等の手渡し以外の配布
- ・物品販売時の人が滞留する場所を作らない対策
 - 1 m程度の間隔を開けた整列
 - オンライン決済、キャッシュレス決済の推奨
 - ビニールカーテン等の物理的対策
 - 多くの人が触れるサンプル品を置かない
- ・利用後の施設、備品の清掃協力(次亜塩素酸水は会館にて用意。雑巾等は利用者用意)
- ・ゴミの廃棄
 - ゴミ処理作業はマスク・手袋等、感染予防策措置を講じること
 - 感染予防策措置を講じ、適正に持ち帰り処分すること

◆社会的距離(ソーシャルディスタンス)の確保

- ・可能な限り人との距離が最低1m確保できるよう工夫していただく
- ・舞台登壇者との距離を確保するため、最前列の席は極力使用を控えていただく

◆体調不良者の来館自粛(関係者、来場者ともに)

- ・過去2週間以内に感染が拡大中の国や地域への訪問歴がある方
- ・体調不良の方(咳や咽頭痛、全身倦怠感、味覚・嗅覚障害、発熱(37.5℃以上))
- ・高齢者や持病のある方など重症化リスクの高い方

◆緊急時の対策

- ・接触者(氏名、緊急連絡先)の把握と個人情報保護の徹底
- ・感染者発覚時の対応策(隔離、2次感染予防、医療機関等への連絡)策定

◆その他

・来場者への事前周知

プレゼント、差し入れの直接手渡し、楽屋訪問の取り止め

飲食を伴う施設利用の自粛

感染拡大防止対策の一環として国が普及を進めている新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)のインストールを促す

※ご利用にあたっては各団体、協会等より出されている新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを参照いただき、ガイドラインにのっとり施設のご利用をお願いします。

5. 施設維持管理業務

- ・施設及び設備の維持管理・各種整備等を効率よく、経済的に実施します。
- ・施設を訪れる全ての方々が安心・安全・快適に利用頂ける環境を整えます。

<施設維持管理業務一覧>

点検業務名	点検内容	頻度
1. 設備運転管理業務	日常業務 作業時間:8:30~21:30 定期点検 共用部 直流電源装置点検 消防設備定期点検 加圧給水ポンプユニット点検 簡易専用水道施設検査 飲料水水質検査 自動制御機器点検 汚水層・雑排水槽清掃 レジオネラ菌検査 芸術文化ホール 室内空気環境測定 衛生害虫防除作業 自動制御機器点検 ガス焚冷温水発生機点検 冷却塔点検整備 ばい煙測定 膨張水槽点検整備 ポンプ・クッションク点検整備 空気調和機点検整備 空冷ヒートポンプ式エアコン点検 消防設備点検 市民図書館 室内空気環境測定 衛生害虫防除作業 自動制御機器点検 空冷ヒートポンプチラー点検 膨張水槽点検整備 ポンプ・クッションク点検整備 空気調和機点検整備 空冷ヒートポンプ式エアコン点検 消防設備点検 ガス焚温水器点検整備	年3回 年2回 年1回 年1回 年2回 年2回 年2回 年2回 年6回 年2回 年2回 年4回 年2回 年2回 年1回 年2回 年2回 年3回 年2回 年2回 年4回 年1回 年2回 年2回 年3回 年2回 年1回
2. 清掃業務	日常清掃 作業時間:7:00~15:00 ※必要に応じて延長 定期清掃 ビニールタイル・長尺シート 床ワックスがけ清掃 カーペット 床洗浄 せせらぎ ビット 残留堆積物除去 建物ガラス窓清掃 照明器具清掃 吹出口・換気口清掃 特別清掃	年6回 市民図書館 市民図書館 年3回 市民図書館 市民図書館 年3回 年9回 年3回 年1回 年1回 年1回
3. 受水槽清掃業務	受水槽清掃及び水質検査、点検等	年1回
4. ごみ収集業務	可燃ごみ	週2回
	不燃ごみ	月1回
	紙類	月1回
	紙類以外	月1回
5. 機械警備業務	防犯サービス、火災監視サービス、設備監視サービス	通年
6. 樹木管理業務	刈込み、草刈り及び樹木管理に係る作業、残材処分	年2回(随時)
7. 花壇植栽管理業務	前植えの片付け、耕起、配置、植付、施肥、除草の作業	年2回(植付)
8. 舞台総合管理業務	基本常駐2名、最大各ホール2名まで	
9. エメラルドホール害虫駆除業務	エメラルドホール内の害虫駆除	年2回
10. 自家用電気工作物保守点検業務	月次点検 外観点検、温度チェック、電圧・電流測定等	年6回
	年次点検 放電雑音チェック、接地抵抗測定、比重測定等	年1回
11. 自動ドア保守点検業務	自動ドア13台保守点検	年2回
12. エレベーター保守点検業務	エレベーター4基保守点検	月1回
13. 電話交換機保守点検業務	電話交換機保守点検	年2回
14. 排煙・換気窓装置保守点検業務	オペレーター装置定期点検整備	年1回
15. 防火対象物点検業務	防火対象物点検	年1回
16. 舞台照明設備保守点検業務	通常点検 調光	年2回
	精密点検 調光・器具	年2回
17. 舞台音響設備保守点検業務	外観機能点検、総合精密点検	年1回
18. 舞台機構・上げ昇降装置保守点検業務	シアターサウス舞台・上げ昇降装置(2基)保守点検	年4回
19. 舞台吊物設備保守点検業務	舞台吊物設備保守点検	年2回
20. 電動式椅子付移動観客席及び連結椅子保守点検	連結椅子、電動式椅子付移動観客席保守点検	年1回
21. シャンデリア保守点検業務	シャンデリア4台保守点検(奇数年度:後方4台、偶数年度:前方4台)	年1回
22. スタジオ大扉等保守点検業務	スタジオ大扉	年2回
	物品搬入用シャッター	年1回
23. ピアノ保守点検業務	各ピアノの定期保守点検	年1回
	スタインウェイ保守調律	年5回

6. 催事計画

文化芸術を通じて創造を楽しむ「まちづくり」の一翼を担う碧南市芸術文化ホールは、市民のみなさまと共に文化芸術の楽しみを分かち合う事業を展開します。碧南市の文化芸術の振興や市民の文化活動の支援の輪を広げていきます。

I 基本方針

1. 国内外の優れた文化や芸術、実演家を広く地域住民に紹介する。
2. 市民が主体となった芸術活動、文化交流の場の提供及び支援を行う。
3. ホールが文化芸術活動の拠点となり広く地域に親しまれ、文化芸術活動の拠点施設となることを目指す。
4. 施設や地域の魅力を広く発信し、文化芸術によるまちづくりや賑わいづくり、シティセールスを行う。

II 実施事業

上記 I 基本方針に加え、指定管理者エリアワングループが掲げている事業領域「鑑賞」「創作」「育成」「支援」「普及」「共催協力」の6つの事業領域と、重点強化項目を盛り込んだ事業を企画します。継続事業として続けている事業の普及に取り組み、ホール事業として定着させます。

【令和3年度催事方針】

- ① 文化芸術の社会的遺産をわかりやすく広げていきます。
- ② あらゆる市民が触れられる文化芸術や、市民が主役となる文化活動に取り組みます。
- ③ 文化活動を通じて地域を活性化に取り組みます。

事業領域	目 的
鑑 賞	優れた文化芸術・質の高い舞台芸術の鑑賞機会を創出 ・文化芸術の枠を広げ、様々な形で市民と文化との接点を増やします。ターゲット性が高く集客力に長けた事業を、年間を通じてバランス良く構成します。
創 作	市民の文化芸術活動への参加意欲・創作意欲を創出 ・市民自ら事業を企画、文化芸術活動への参加を促進する事業を実施します。市民とともにあらゆる文化芸術活動に取り組み、地域の賑わいづくりに努めます。
育 成	文化芸術の振興を担う人材・次世代を支える人材の育成 ・碧南市における文化芸術の振興を担う人材を育成します。子どもたちに様々な文化芸術に触れる「機械」を創出し、次世代を担う人材を育成します。
支 援	鑑賞者や参加者・创作者の支援 ・アーティストの文化芸術活動支援を行います。アーティスト同士や市民との交流の機会の場を提供します。
普 及	様々な人が文化芸術に触れられる機会の創出 ・市民が気軽に文化芸術に触れられる機会を創出します。施設に留まることなく、市内施設や観光協会と連携し、文化芸術の普及に努めます。
協力・共催	文化芸術事業の拡大とサービス産業化 ・文化事業を行っている組織や団体と共催、協力し、事業の拡大に努めます。文化芸術活動をサービス産業に発展させ、“まちづくり”に貢献します。

(1) 鑑賞事業

様々なジャンルの公演を実施し、楽しく親しめる文化芸術との接点を増やします。

No.	事業名	概要	会場	時期
1	エメラルドオペラ 「メリー・ウイドウ」	好評を博しているオペラ公演第4弾企画。甚目裕夫 プロデュースによるオペラ公演。 *延期公演	エメラルド ホール	5月
2	大阪交響楽団 ニューイヤーコンサート	大阪交響楽団ニューイヤーコンサート第2弾！ ドヴォルザーク生誕 180 周年記念プログラム	エメラルド ホール	1月
3	へきなん落語 柳家三三 独演会	永年継承されてきた「へきなん落語」を開催。 柳家三三 独演会	シアター サウス	9月
4	アルゼンチンタンゴ 2021	アルゼンチンタンゴ世界チャンピオン新垣アクセル(碧南 市出身)出演の特別プログラム。 *延期公演	シアター サウス	6月
5	Jazz in Theater & Bar vol.27	飲食をともに楽しむジャズコンサート。 出演者 未定	シアター サウス	未定
6	津軽三味線 三絃士	東海地方の津軽三味線ユニット。 多彩な音楽と躍動感溢れるコンサート。	エメラルド ホール	未定
7	他館連携公演 ファミリープログラム えんどうまめとおひめさま	愛知県芸術劇場との他館連携事業 *延期公演 海外の劇団を招聘し子ども向け公演を実施	エメラルド ホール	8月

(2) 創作事業

市民参加型プロジェクトの積極的な普及活動を行います

No.	事業名	概要	会場	時期	継続 年数
8	フルート体験 ワークショップ	老若男女問わず初めて楽器に触れる体験WS 共催:(株)村松フルート製作所	スタジオ	2月	H26～ 8年目
9	ANET あそび塾	子どもたちが1日楽しみながらオペラ公演を製作し、 出演する参加事業 共催:ANET(愛知県芸術文化協会)	エメラルド ホール他	8月	H27～ 7年目
10	1Dayアートレッスン	大人や子どもを対象とした体験やレッスン等の 1日体験型WS	館内	8月	H26～ 8年目
11	パートナーシップ プロジェクト ミュージカル公演	大学や関係各所との連携による事業を実施する MBA とミュージカル公演の開催を予定	シアター サウス	通年	H26～ 8年目

(3) 支援育成事業

市民参加型プロジェクトの積極的な普及活動を行います

市民ボランティア活動を継続して支援します

No.	事業名	概要	会場	時期	継続年数
12	碧南ロックGIG2020	永年活動を行っている市民団体活動支援公演 プレイベント、メインイベントと時期・会場を分けて実施 会場 プレ:スタジオ/メイン:シアターサウス	スタジオ シアター サウス	6月 7月	指定前
13	音楽のリレーコンサート	市民がホールで音楽を奏でる参加出演型コンサート	エメラルド ホール	3月	H26～ 8年目
14	シアターサウス 市民劇場	施設を利用し文化活動を行っている教室等と連携し シアターサウスにて発表会を開催	シアター サウス	2月	H28～ 6年目
15	文化ボランティア事業	市民による文化活動支援組織と登録アーティスト による演奏会を開催。	—	通年	H29～ 5年目
16	小学校 音楽アウトリーチ 中学校 ダンスアウトリーチ	学校訪問アウトリーチ事業。(音楽、ダンス) 小中学校のスケジュールに合わせ訪問 小学校:トリオクーナ ほか 中学校:SUGI-J	—	通年	H26～ 7年目 H29～ 4年目
17	新人演奏家コンサート	各地で開催されているコンクール等で輝かしい成績 を残した若手演奏家によるコンサート	エメラルド ホール	1月	H26～ 7年目

(4) 普及事業

舞台芸術のみならず、食文化など多彩な文化との接点を増やします

No.	事業名	概要	会場	時期	継続年数
18	フォーラムコンサート	市民や登録アーティストなどが参加する鑑賞無料 のコンサート 12回/年(予定)	スタジオ	通年	H28～ 5年目
19	へきなんアートフェア	マルシェやコンサート、平日昼間の上映会、 クリエイターズマーケット等のイベントを開催し、 地域の賑わいづくりや活性化に取り組みます	施設	通年	H27～ 6年目
20	市内施設連携公演	市内施設など様々な会場で演奏会や事業の実施 *美術館、水族館など	—	通年	H27～ 6年目
21	オンライン配信	インターネットを使い、会館実施事業の配信を行う。	—	通年	R2～ 2年目

(5) 共催事業

文化事業を行っている組織や団体と共催、協力し、事業の拡大に努めます。

No.	事業名	概要	会場	時期	継続 年数
22	ピティナ・ピアノステップ 碧南夏季地区	ピアノ指導者、演奏者向けにアドバイスがもらえる 公開ステージ(碧南・西尾・高浜地区) 主催:全日本ピアノ指導者協会主催	エメラルド ホール	6月	H26～ 8年目
23	ピティナ・ピアノステップ 碧南秋季地区	同上の内容の秋季公開ステージ。 主催:全日本ピアノ指導者協会主催 主催:全日本ピアノ指導者協会主催	エメラルド ホール	11月	H26～ 8年目
24	県下ピアノ独奏コンクール	60回以上の長きに渡り地域で続くコンクール ヤマハ主催コンクールへの登竜門 主催:碧南市音楽協会	エメラルド ホール	11月	H26～ 8年目
25	碧南映画の会 映画上映会& 監督トークショー	映画上映会と監督トークショーを開催し、映画を 身近に感じてもらう活動する市民団体の支援 主催:碧南映画の会	シアター サウス	未定	H26～ 8年目
26	刈谷国際音楽コンクール ガラコンサート in 碧南	刈谷市総合文化センターで開催されている 国際コンクール受賞者によるガラコンサート。 主催:刈谷国際音楽コンクール実行委員会	エメラルド ホール	2月	H29～ 5年目
27	中日個人重奏コンテスト	アンサンブルコンテストと並ぶ吹奏楽部に 所属している学生のためのコンテスト。 主催:中部日本吹奏楽連盟	エメラルド ホール	2月	R2～

※上記事業は都合等により変更する場合があります。

<事業別入場者数想定及び収支予算>

No.	分類	事業名	入場見込	平均単価	収入	支出	支出差額
1	鑑賞	エメラルドオペラ 「メリー・ウイドウ」					
2	鑑賞	大阪交響楽団ニューイヤーコンサート					
3	鑑賞	へきなん落語 柳家三三 独演会					
4	鑑賞	アルゼンチンタンゴ2021					
5	鑑賞	Jazz in Theater & Bar vol.27					
6	鑑賞	津軽三味線 三絃士					
7	鑑賞	他館連携公演 ファミリープログラム					
8	創作	フルート体験ワークショップ					
9	創作	ANET あそび塾					
10	創作	1Day アートレッスン					
11	創作	パートナーシッププロジェクト ミュージカル					
12	支援	碧南ロック GIG2020					
13	支援	音楽のリレーコンサート					
14	支援	シアターサウス市民劇場					
15	育成	文化ボランティア育成事業					
16	育成	小学校アウトリーチ・中学校ダンスワークショップ					
17	普及	新人演奏家コンサート					
18	普及	フォーラムコンサート					
19	普及	へきなんアートフェア					
20	普及	市内施設連携公演					
21	普及	オンライン配信					
22	共協	ピティナ・ピアノステップ 碧南夏季地区					
23	共協	ピティナ・ピアノステップ 碧南秋季地区					
24	共協	県下ピアノ独奏コンクール					
25	共協	碧南映画の会 上映会&トークショー					
26	共協	刈谷国際コンクール ガラコンサート in 碧南					

27	共催	中日個人重奏コンテスト	-	-	-	-	-
					収入	支出	事業費

<全体事業収支予算>

(税込)

事業収入計	
事業費計	
事業収支差額	

7. 収支予算書

【収入の部】

項目	金額 (税込)	内容
指定管理料		令和3年度補正費 ¥2,194,400 (産廃処理費 290,400 + 消費税増税分 1,904,000)
利用料金・付帯設備使用料		令和2度の社会情勢に基づき積算
事業収入		事業計画に基づき積算
その他収入		チケット受託収入、レストラン電気料等
合計	159,331,400	

【支出の部】

項目		金額（税込）	内容
人件費	館長		法定福利/交通費等含む
	副館長		法定福利/交通費等含む
	事業担当者		法定福利/交通費等含む
	事業担当者		法定福利/交通費等含む
	受付事務職員		法定福利/交通費等含む
	催事職員		法定福利/交通費等含む
	舞台管理技術員		法定福利/交通費等含む
	人件費計		
事務費	旅費		出張旅費等
	消耗品費		コピー料金・トナー・文具等
	印刷製本費		封筒代、定期広報誌印刷製本費等
	役務費		電話通信料、郵送料、インターネット通信費、HP制作・運営等
	使用料及び賃借料		システム使用料
	備品費		パソコン及び周辺機器等事務用品等
	負担金		文化施設協議会負担金
	雑費		
	事務費計		
管理費	消耗品費		舞台・音響・設備・清掃用品・館内装飾等
	光熱水費		電気料、上下水道料
	燃料費		ブタンガス・プロパンガス
	委託料		設備運転管理業務、清掃業務、ゴミ収集業務等（産廃処理費 290,400）
	使用料及び賃借料		マット使用料、公用車レンタル料、LEDレンタル料(ホール、図書館)
	負担金		冷凍設備保安協会負担金等
	雑費		
	事務費計		
事業費	報償費		公演料、出演料、講師謝礼等
	消耗品費		ポスター関係、色上質紙等
	食糧費		出演者弁当代、ケータリング代
	印刷製本費		チラシ・ポスター等印刷代
	役務費		チラシデザイン料、広告料、調律料等
	委託料		公演委託料
	使用料及び賃借料		著作権料、宿泊費、楽器使用料等
	雑費		
事業費計			
修繕費			
修繕費計			
合計		159,331,400	